セーフコミュニティこうか

みんなでつくる安心安全なまち

認証取得に向けた現地審査を10月21日(水)・22日(木)に実施します。
※詳細は15ページ。

注意看板を設置した

交通安全対策委員会副委員長
谷村ふみ子さん

市外の方の目を引き、地域の方に親しみをもってもらえるように、忍者のキャラクターを使った注意看板を設置しました。

看板を見て、少しでも安全運転を心がけてもらえればと思います。事故が一件でも減って、住みやすいまちになることをめざしています。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

反射材を受け取った

玉木幸一さん

私も夜に狭い道を歩いていて車が怖いと感じたことが何度もあったので、地元の消防団がこういった活動をしてくれるのはとてもうれしいです。

実際に反射材をつけてみましたが、シールタイプで簡単に貼れて見た目にも違和感がないので、これから活用していきたいと思います。

取組③　高齢者を対象に啓発

高齢者は、徒歩や自転車を移動手段とすることが多く、事故に遭うと重傷度の高いけがをされる傾向があります。

特に薄暮時や夜間の歩行中に事故に遭うケースが増加していることから、高齢者を会員とするゆうゆう甲賀クラブや民生委員児童委員の方を対象にアンケートを実施し、夜間等に高齢者がよく行く場所を調査しました。

アンケートの結果、地域の集会所やスーパー・コンビニが多いことが分かったので、甲賀町大原市場区をモデル地区に選定し、啓発活動を行いました。集会所においては高齢者の安全対策委員会と合同で交通安全教室を開催し、スーパーやコンビニでは反射材を配布してその場で着用いただきました。

▲靴に貼るシールタイプの反射材

取組④　地元消防団による夜間パトロールで啓発

取組③で実施したアンケートによると、夜間の外出先として、集会所やスーパー・コンビニの他に、散歩が多いということがわかりました。場所が特定できる集会所などと違い、散歩はどこを通られるかわかりません。

そこで、夜間パトロールを実施されている地元の消防団に協力いただきました。モデル地区の甲賀町大原市場区周辺を管轄している甲賀方面隊第4分団の皆さんに、パトロール中に出会った高齢者に反射材を配ってもらうなど、さまざまな場所で散歩中の高齢者に安全啓発をすることができました。

▲高齢者の靴に反射材を貼る消防団員

問い合わせ
危機管理課　セーフコミュニティ推進室
☎62-1805／Fax63-4619

safe community KOKA

交通安全

まちぐるみで危険箇所の安全を追求しよう

甲賀市は、市民の8割以上が自家用車で移動する車社会です。事故やけがによる救急搬送では交通事故が最も多く、死亡事故も毎年発生しています。

セーフコミュニティでは、交通安全をテーマに「交通安全対策委員会」を設置し、対策に取り組んでいます。

5つのテーマ

- 自殺の予防
- 交通安全
- 高齢者の安全
- 子どもの安全
- 災害被害の防止

取組①　市民に事故多発地点を知らせる

対策委員会で事故の統計を調べたところ、予想に反して、交通量の多い国道よりも信号のない市道や県道の交差点の方が事故が多いことがわかりました。

そこで、事故がよく起こる場所を知らない人が多いのではないかと考え、過去5年間の人身事故多発地点を調査し、チラシを作成して啓発を行いました。チラシはワーストランキング形式で、事故が多い5カ所を現場の詳しい状況や注意すべき点などと併せて掲載しています。

チラシは組回覧で地域の皆さんに見ていただき、危険箇所での安全運転を呼びかけました。

▲事故多発地点の啓発チラシ

取組②　事業用車両運転者に事故多発地点を知らせる

取組①で啓発チラシにより市民の皆さんに危険箇所をお知らせしましたが、道路を通行するのは市内に住んでいる方だけではありません。市内の事業所で働いている方などにも危険箇所を知らせる必要があります。

そこで、甲賀湖南安全運転管理者協会、甲賀市工業会、滋賀県トラック協会甲賀支部にご協力いただき、事業所で啓発チラシを配布しました。また、同時に意識調査のアンケートも実施し、約97%の方に「チラシを見て安全運転を心がける」という回答をいただきました。

また、チラシを見ていない方にも危険箇所を知っていただけるように、事故多発地点の上位5カ所に「にんじゃえもん」の注意看板を設置しました。

▲注意看板を設置する委員

市では、誰もが健康で安心安全に暮らせるまちづくりをめざして、セーフコミュニティに取り組んでいます。

セーフコミュニティとは、WHOが提唱する「事故やけがは予防できる」という考えに基づき、科学的な予防対策とまちぐるみの連携によって事故やけがを防いでいこうとする世界基準の取り組みで、今年の秋の認証をめざしています。

地域の特性や課題に基づいて、優先して取り組むテーマを5つ設定し、それぞれの対策委員会によりさまざまな取り組みを進めています。